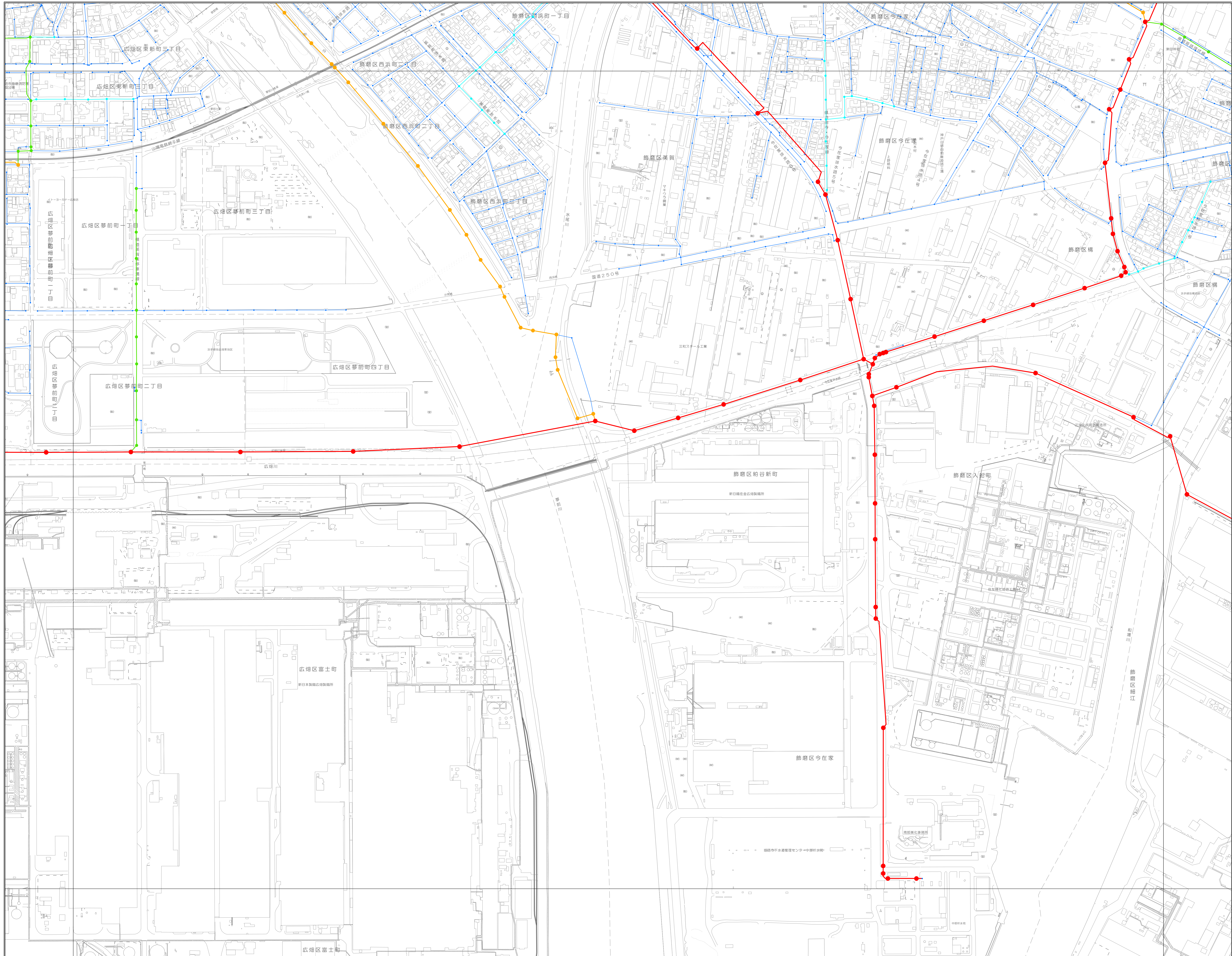
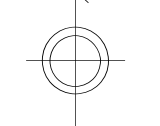


OE-47-3

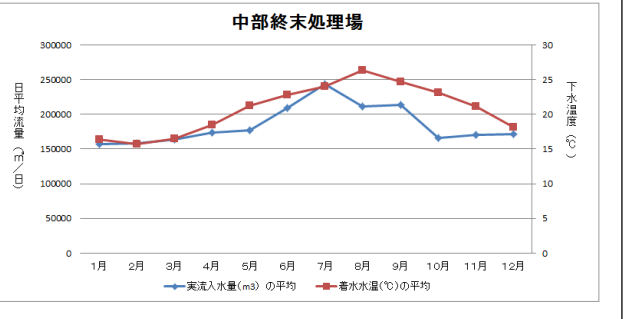
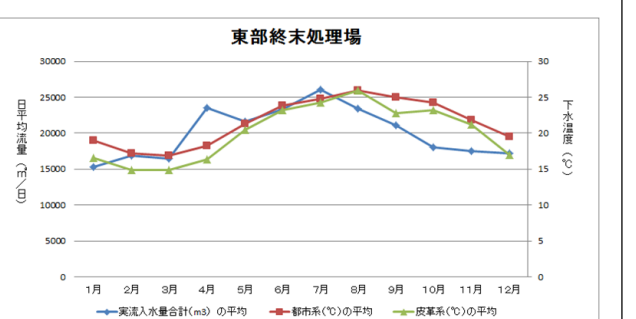
ポテンシャルマップ



OE-46	OE-47	OE-47
2	-1	-2
OE-46	OE-47	OE-47
-4	-3	-4
OE-56	OE-57	OE-57
-2	-1	-2

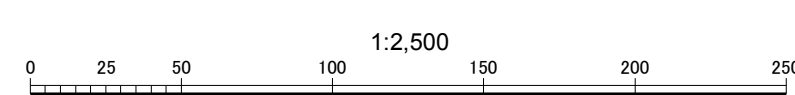


【注】
 ① 本図は、特定の条件を前提としたシミュレーションの結果を示しています。実際の状況は、気候変動の影響、土地利用の変化、人口の変動などによって異なる可能性があります。
 ② 本図は、あくまで参考情報として提供されており、具体的な計画や施策の実施には、専門家の意見を必ずご確認ください。
 ③ 本図の作成には、最新の地理情報システム（GIS）データと気象データが利用されています。
 ④ 本図の著作権は、作成者（株式会社）に帰属します。無断での複製や転載は厳禁です。
 ⑤ 本図の最終更新日：令和5年12月31日。



項目	データ項目	年度
下水道台帳	管径・マンホール・取付設備	平成23年度
	管径・マンホール・取付設備	平成28年度
水道データ	水道メータ設置場所情報	平成23年度
	水道使用量情報	平成28年度
基本地形図	地形図データ	平成23年度
	下水流量（トン/日・処理場）	平成28年度
下水データ	下水温度（トン/日・処理場）	平成23年度
	下水温度（トン/日・処理場）	平成28年度

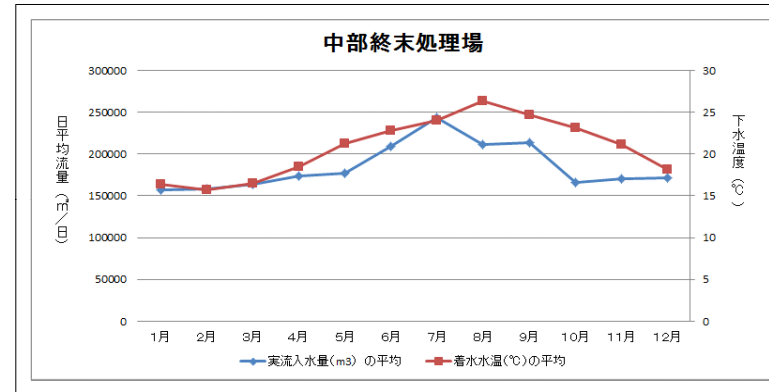
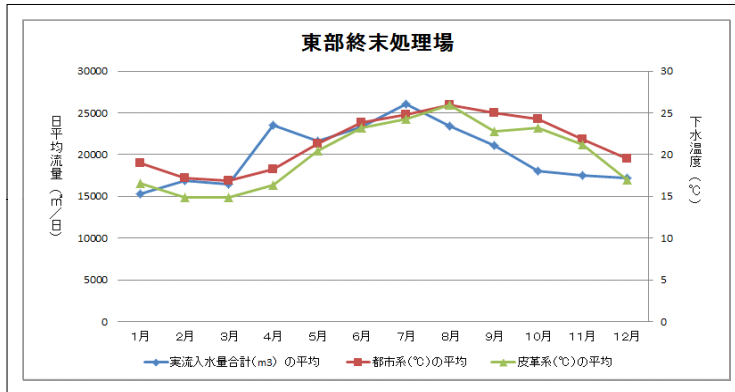
下水熱ポテンシャル (MJ/日)	住宅給湯負荷相当の世帯数目安
0 ~ 3500	0 ~ 100
3500 ~ 17000	100 ~ 500
17000 ~ 35000	500 ~ 1000
35000 ~ 170000	1000 ~ 5000
170000 ~	5000 ~



OE-47-3

【注釈】

- この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き」(2015年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設における下水流量測定値を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
- 推計に用いたデータは、別表の通りであり、その後の変化は、反映されていない。
- 代表日のポテンシャルを推計しているため、降雨や融雪等の影響は考慮していない。
- 下水道施設における下水流量測定値を基に推計したポテンシャルであるため、大規模温浴施設等の近傍等では誤差が大きく生じている可能性がある。
- この下水熱ポテンシャルマップは、中部処理区及び東部処理区を対象に作成している。整備対象外の隣接処理区からの汚水流入量は、各処理区内で按分しているため、幹線管渠から離れる場所ほど、誤差が大きく生じている可能性がある。



項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・マンホール図形情報	平成28年度
	管路・マンホール接続情報	平成28年度
水道データ	水道メータ設置場所情報	平成28年度
	水道使用量情報	平成28年度
基本地形図	地形図データ	平成28年度
下水データ	下水流量(ポンプ場・処理場)	平成28年度
	下水温度(ポンプ場・処理場)	平成28年度

下水熱ポテンシャル (MJ/日)

- 0 ~ 3,500
- 3,500 ~ 17,000
- 17,000 ~ 35,000
- 35,000 ~ 170,000
- 170,000 ~

※28年度版のポテンシャル
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。
 ※数値は有効数字2桁に丸めている。

住宅給湯負荷相当の世帯数目安

- 0 ~ 100
- 100 ~ 500
- 500 ~ 1,000
- 1,000 ~ 5,000
- 5,000 ~

住宅1世帯、1日当たりの給湯負荷相当熱量
 34.5[MJ/日・世帯]
 (住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定)